

2018 年度 第一回 日内連講演会

“船舶の安全・経済運航に寄与する電子データ活用技術の最新情報”

— デジタル化活用はここまで進んでいる。これからは？ ビッグデータ活用がどこまで進んでいるか —

開催日: 2018 年 8 月 31 日(金)

場所: 笹川記念会館 4階 第1・第2 会議室

講演プログラム

講演 題 目(時間)	講演者(敬称略)
開会の辞(09:15~09:20)	日内連
1. 船級協会の取り組み(シップデータセンター構想について)(09:20~10:05) IoS オープンプラットフォームについて	池田 靖弘(日本海事協会)
2. IoS・ビッグデータを活用した、船社での省エネ・安全運航、機器の予防保全・診断(10:05~11:35)	
(1) 商船三井が取り組む省エネ・安全運航、機器の予防保全に関する技術開発(45 分)	浅沼 則道(商船三井)
(2) ビッグデータ活用による安全・経済運航の推進(45 分)	佐々木 丈一(川崎汽船)
昼休み(コーヒー・ジュースのセルフサービスあり)(11:35~12:35)	
2. -(続き)-(12:35~13:20)	
(3) 日本郵船における Data 収集についてとその活用(45 分)	山田 省吾(日本郵船)
3. 機関メーカーの監視・診断システム・保守(13:20~14:50)	
(1) Win GD のデジタルライゼーションへの取り組み WiDE(WinGD integrated Digital Expert)について(45 分)	青波 徹(Win GD Japan)
(2) Wärtsilä's Smart Marine Ecosystem Concept(45 分) (英語;通訳なし)	Andrea Morgante(Wärtsilä Norway)
休憩 (coffee break 14:50~15:10)	
3. -(続き)-(15:10~16:40)	
(3) デジタル化による“主機の見える化”の取り組み(45 分)	増子 弘二(三井 E&S マシナリー)
(4) CMAXS LC-A による価値創造の現状及び今後について(45 分)	藤井 幹(ディーゼルユナイテッド)
閉会の辞(16:40~16:45)	日内連

プログラム・演題は都合により予告無く変更されることがあります

(お願い事項)

CD 内の講演資料から無断での流用をされないよう、お願いいたします。

講師の方々の現職

講演番号

- 1 池田 靖弘 氏 : 一般財団法人日本海事協会 開発本部 情報技術部次長
いけだ やすひろ (株)シップデータセンター 代表取締役社長
- 2-(1) 浅沼 則道 氏 : (株)商船三井 技術革新本部 技術部 技術イノベーションチーム
あさぬま のりみち チームリーダー
- 2-(2) 佐々木 丈一 氏 : 川崎汽船(株) 理事・先進技術グループ長
ささき じょういち
- 2-(3) 山田 省吾 氏 : 日本郵船(株) 海務グループ ビッグデータ活用チーム チーム長
やまだ しょうご
- 3-(1) 青波 徹 氏 : ウィンターツールガスアンドディーゼルジャパン(株)
あおなみ てつ ライセンス営業 部長
- 3-(2) Mr. Andrea Morgante : Wärtsilä Norway AS
アンドレア モルガンテ Director of Marine Solutions Digital
- 3-(3) 増子 弘二 氏 : (株)三井 E&S マシナリー ディーゼル事業部 設計部
ますこ こうじ 基本設計グループ 主任
- 3-(4) 藤井 幹 氏 : (株)ディーゼルユナイテッド
ふじい たかし 取締役ソリューション事業室長